

輸送動向について（11月分）

平成23年12月

1. 輸送概況

今月は、東日本大震災による常磐線の不通に加え、北陸線における自動車と旅客列車の衝撃による輸送障害等が発生し、月全体では高速貨114本が運休した。

荷動きについては、震災により落ち込んだ生産活動は徐々に回復しつつあるものの、円高による販売減の影響等もあり、月を通して前年を下回った。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、自動車部品が前年を上回ったものの、紙・パルプ、家電・情報機器等が前年を下回り、全体では前年比96.1%となった。農産品・青果物は北海道からの民間流通米の出荷が好調となった。一方、東北の生産拠点が被災した紙・パルプは前年と比較して大きく減送となっているものの、各拠点の復旧は着実に進んでいる。また、家電・情報機器は昨年12月の家電エコポイント制度変更前の販売増があり本年は減送となった。なお、東日本大震災により発生した災害廃棄物の広域処理に伴う岩手県宮古市から東京都への輸送が11月3日から開始され、11月は20フィートコンテナ150個分を輸送した。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石等全ての品目が前年を下回り、全体では前年比90.5%となった。石油は気温が高めに推移したことに加え、冬場の節電に伴う燃料需要の増加を見据えた備蓄増のために10月に輸送量が増加したこともあり今回は減送となった。セメント・石灰石は台風12号で被災した線路の不通が上旬まで続いたことから前年を下回った。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,765	1,836	96.1%	12,801	14,047	91.1%
車 扱	866	957	90.5%	5,852	6,396	91.5%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	204	195	9	104.6%
	化学工業品	168	175	-7	96.0%
	化学薬品	130	136	-6	95.6%
	食料工業品	266	272	-6	97.8%
	紙・パルプ	227	267	-40	85.0%
	他工業品	141	140	1	100.7%
	積合せ貨物	188	192	-4	97.9%
	自動車部品	81	77	4	105.2%
	家電・情報機器	38	52	-14	73.1%
	エコ関連物資	32	32	0	100.0%
	その他の他	290	298	-8	97.3%
コンテナ計	1,765	1,836	-71	96.1%	
車 扱	石油	600	658	-58	91.2%
	セメント・石灰石	107	121	-14	89.0%
	車 両	79	96	-17	81.5%
	その他の他	80	82	-2	96.9%
	車 扱 計	866	957	-91	90.5%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)